

## 活動情報

|      |                 |
|------|-----------------|
| 取組項目 | 生物の生息状況の把握      |
| 組織名  | 三区町環境保全隊(那須塩原市) |

活動目的:生きもの調査を通して「田んぼの役割」「自然を大切に作る心」を養ってもらおう

活動実施日:7月21日

活動内容:田んぼと田んぼまわりの生き物調査

参加状況:58名(農業者16名,非農業者27名、子供15名)

費用:約13万(広報用資料作成・コピ -、昼食用食材,飲み物,日当等)

梅雨明け後とは思えない霧雨の中、子供と保護者、農業者58名の参加で、有機水田と慣行水田の二ヶ所で生きもの調査を実施しました。

田んぼまわりのカエル調査では、トウキョウダルマガエル、アカガエル、アオガエルが三つの班で、なんと479匹確認でき子供も大人もびっくりすると同時に大喜びでした。

珍しい発見は、慣行水田に「タニシ」がいたことで、普段見られない生き物の発見にびっくりです。

生き物調査で真剣になるのは、コドラ - トにより採取した土をキレイな水で流し、白いパレットの中で動きまわる、ミジンゴやユスリカなどの微生物の観察で、大人も子供も無言で取り組む姿は素晴らしい.....

結果としては、ユスリカは有機水田の方が慣行水田の約5倍でした。



### 微生物の観察



今回の生き物調査の特徴は、那須塩原市の動植物実態調査研究会委員として活動し、地域に在住している専門家の方に協力していただき、田んぼまわりの「虫」についての調査をするための「昆虫班」をつくり、調査対象の田んぼまわりで、事前に捕獲していただいた虫の実物を参考に調査を実施したことです。

秋に予定している調査では、専門家の方のアドバイスをいただきながら、さらにレベルアップした活動をしたいと思っています。

